

令和3年度行政事業レビューシート (法務省)

事業名	保護観察の実施			担当部局庁	保護局	作成責任者			
事業開始年度	不明	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	観察課	観察課長 生駒 貴弘			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	更生保護法(平成19年法律第88号)第29条第1号ほか			関係する 計画、通知等	「「世界一安全な日本」創造戦略」等				
主要政策・施策	子ども・若者育成支援、男女共同参画			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	社会内において適切な処遇を実施することにより、犯罪をした者及び非行のある少年の再犯・再非行防止と改善更生を図り、もって社会を保護し、個人及び公共の福祉を増進することを目的としている。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	矯正施設被収容者の釈放後の生活環境を調整し、その円滑な社会復帰に資するとともに、仮釈放者等の保護観察対象者が実社会の中で改善更生できるように、国の責任において指導監督及び補導援護による保護観察を行うもの。また、保護観察対象者や更生緊急保護の対象となる者に対し保護等が必要な場合の応急の救護等及び更生緊急保護や、恩赦の上申等を実施するもの。 なお、家庭裁判所で保護観察に付された少年、少年院からの仮退院を許された者、刑事施設からの仮釈放を許された者、裁判所で刑の執行を猶予され保護観察に付された者等に対する保護観察等が実施されており、本事業の大部分は、国と民間(約5万人の保護司、約100の更生保護施設を設置する更生保護法人等)との協働により実施されている。								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	11,405	11,731	11,647	11,636			
		補正予算	-	-	107				
		前年度から繰越し	-	-	2	15			
		翌年度へ繰越し	-	▲ 2	▲ 15				
		予備費等	-	-	-				
	計		11,405	11,729	11,741	11,651	0		
	執行額		11,020	11,563	10,672				
	執行率 (%)		97%	99%	91%				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		97%	99%	91%				
令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	更生保護委託費	5,467							
	保護司実費弁償金	3,960							
	更生保護業務庁費	1,415							
	保護観察対象者等職業補導給付金	575							
	更生保護業務旅費	123							
	その他	96	0						
	計	11,636	0						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 3 年度
	令和3年までに出所者の刑事施設への再入所率(出所から2年以内)を16%以下に下げる。(再犯防止に向けた総合対策(平成24年7月犯罪対策閣僚会議決定)において定められた数値目標)	出所者の刑事施設への再入所率(出所年から2年以内) (当該出所年の出所者数のうち出所年から2年以内の再入所者数/当該出所年の出所者数)	成果実績	%	16.9	16.1	15.6	-	-
			目標値	%	17.2	16.8	16.4	-	16
			達成度	%	101.8	104.3	105.1	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	矯正統計年報								

	定量的な成果目標	成果指標	成果実績	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標	目標最終年度	
								- 年度	3 年度	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	性犯罪者処遇プログラム受講者において、受講後問題性の程度が低下したと認められる者の割合を91%以上に上げる。(平成20年度以降で最も数値が高かった平成21年度の実績値91.3%を参考として設定)	性犯罪者処遇プログラム受講者において、受講後問題性の程度が低下したと認められる者の割合(当該年中にコア・プログラムの受講を修了した者のうち開始時評点-終了時評点が1以上となる者/当該年中にコア・プログラムの受講を修了した者)	成果実績	%	82	84.8	84.1	-	-	
			目標値	%	91	91	91	-	91	
			達成度	%	90.1	93.2	92.4	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)	性犯罪者処遇プログラム受講者におけるコア・プログラム受講前後の評点の変化(保護局調査)									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込	
	取扱事件数(保護観察, 生活環境の調整, 更生緊急保護, 恩赦の合計件数)	活動実績	人	159,063	149,782	140,561	-	-		
当初見込み		人	158,184	148,464	140,823	132,234	-			
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込	
	更生保護サポートセンターの設置か所数	活動実績	か所	802	886	886	-	-		
当初見込み		か所	802	886	886	886	-			
単位当たり コスト	算出根拠			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込		
	執行額/取扱事件数(保護観察, 生活環境の調整, 更生緊急保護, 恩赦の合計件数)	単位当たり コスト	円	69,281	77,199	75,924				
計算式		執行額/事件数		11,020百万円/159,063件	11,563百万円/149,782件	10,672百万円/140,561件				
政策評価、 新経済・ 財政再生 計画との 関係	政策	更生保護活動の適切な実施(Ⅱ-7)								
	施策	保護観察対象者等の改善更生等(Ⅱ-7-(1))								
	測定指標	定量的指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 3 年度	目標年度 - 年度
		覚醒剤取締法違反により受刑した者のうち、出所後に保護観察を受けた者の2年以内再入率(%)	実績値	%	12.8	12.6	12.8			
			目標値	%	-	-	12.6	12.8	-	
		定量的指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標年度 2 年度
	保護観察終了者に占める無職者の割合(%)	実績値	%	21.2	21.3	25	-	25		
		目標値	%	21.8	21.1	18	-	18		
	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)						
	行き場のない保護観察対象者等の受入状況	行き場のない保護観察対象者等の積極的な受入れによる生活基盤の確保	3	行き場のない保護観察対象者等について、更生保護施設等において積極的に受入れを図ることにより、その生活基盤を確保するとともに、健全な社会生活を営むために必要な支援を確保する。						
更生保護施設において引き続き高齢・障害者や薬物事犯者を中心に行き場のない保護観察対象者等の受入れを促進するとともに、自立準備ホームの登録事業者を拡大し、行き場のない保護観察対象者等の生活基盤を確保した。										
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
矯正施設に収容された者の釈放後の生活環境を調整し、その円滑な社会復帰を図るとともに、仮釈放者等の保護観察対象者が社会の中で改善更生できるよう、国の責任において指導監督及び補導援護による保護観察を実施する。また、保護観察対象者等に対し保護等が必要な場合の応急の救護・援護及び更生緊急保護並びに恩赦の上申等を実施する。 特定の犯罪的傾向を改善するための専門的処遇プログラムを実施することによって、保護観察対象者の改善更生を促進する。										

新 経 済 ・ 財 政 再 生 計 画 改 革 工 程 表 2 0 2 0	取組事項	分野:	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	2年度	3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-	-	-	

本事業の成果と取組事項・KPIとの関係

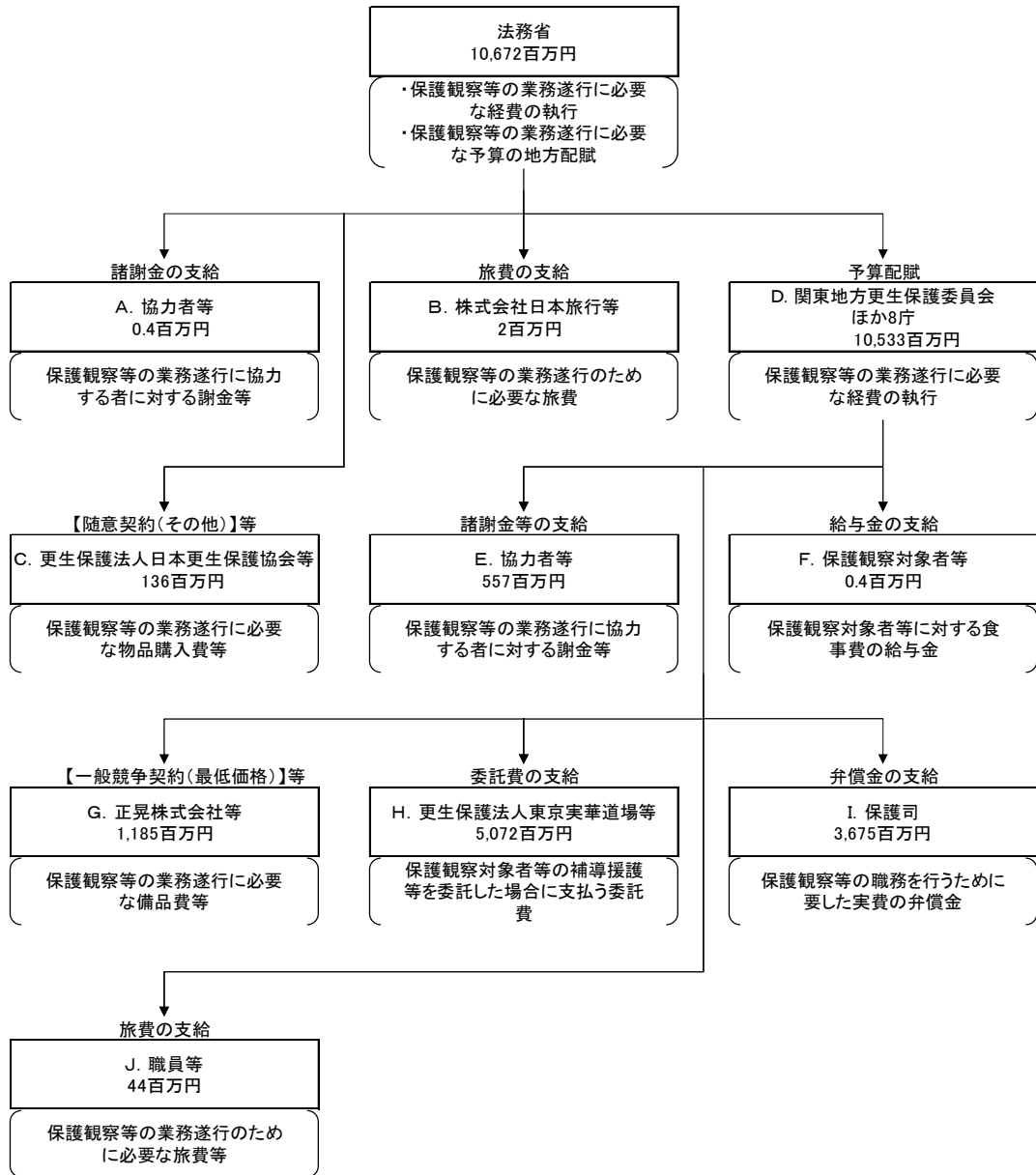
事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国 必 要 投 入 の	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、社会を保護し、個人及び公共の福祉を増進することに関する国民や社会のニーズに応えるものである。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、法律に基づき国が実施すべきものである。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、優先度が高い事業である。
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札を実施することにより、競争性の確保やコスト削減に努めている。一部、一者応札になっているものや、競争性のない随意契約となっているものがあることから、引き続き、一般競争入札によるコスト削減に努めることとしたい。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	近年、薬物事犯者、高齢・障害者等処遇困難者の増加に伴い、保護観察官がきめ細やかな処遇を行うことにより再犯防止を図っているところ、昨年度と比較して単位当たりのコストが下がっていることから、引き続き、一般競争入札や一括調達を推進することによりコスト削減に努めることとしたい。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	費目・使途については、本事業の目的に即したものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	地方委員会による一括調達等の取組を行うことなどにより、コスト削減に努めている。	
事 業 の 有 効 性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果実績は成果目標に見合ったものとなっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は当初見込みをほぼ達成している。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	協議会を開催する等して処遇内容の共有化を図っている。
関 連 事 業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	所管府省名	事業番号	事業名
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	本事業は、刑務所出所者等の再犯防止と改善更生を図るため、極めて重要なものであり、民間協力者や関係機関・団体等と密接に連携しつつ実施しているところである。本事業の実施に当たっては、旅費について「国家公務員等の旅費に関する法律」等の関係法令に従い適切に支出するとともに、効率的かつ抑制的な執行に努めている。また、調達している物品等についても、市場動向・過去の調達実績や類似調達事案等を踏まえた物品調達を励行し、更なる経費の削減に努めた。	
	改善の方向性	職員の出張頻度や物品の調達数量等について、更に精査し、見直しを図る。また、地方更生保護委員会による一括調達等の取組を更に推進し、一般競争入札を実施することによって競争性の確保やコスト削減に努め、一層の経費削減を図るよう努める。	

外部有識者の所見			
行政事業レビュー推進チームの所見			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
備考			
<p>【平成27年度 公開プロセス実施(更生保護サポートセンターについて)】</p> <p>○評価結果 事業内容の一部改善</p> <p>○取りまとめコメント ・成果目標の設定の適正化を図る。 ・保護司の安定的確保など十分ではないため、適正をもった人材の確保、育成を行うことが必要である。 ・予算配分は、執行状況を見極めながら、重点化・効率化を図る必要がある。</p> <p>○対応状況 サポートセンターの予算は、平成28年度から、保護司会の規模に応じて積算し、適切に配分している。また、保護司としての適性を持った方を安定的に確保していくため、適任者確保に向けたマニュアルを作成するとともに、保護司組織と緊密に連携し、各種施策を推進している。</p> <p>【令和元年度 公開プロセス実施(更生保護就労支援事業について)】</p> <p>○評価結果 事業内容の一部改善</p> <p>○取りまとめコメント 事業内容について有効性が認められる。 保護観察の種類や罪名等の属性によって対策が異なることから、研究の成果やデータを十分に分析検証して効果的な支援策を策定すべきである。 他省庁・自治体等との連携を十分に行う必要がある。</p> <p>○対応状況 更生保護就労支援事業においては、効果的な支援方法の検討をしつつ、厚生労働省等と連携して、刑務所出所者等の特性に応じた業種への就労マッチングを促進するとともに、令和2年度からは、早期離職を防止するため、「寄り添い型」の職場定着支援を開始した。</p> <p>(伊藤由希子委員, 井上東委員, 大矢雄裕委員, 瀬戸洋一委員, 竹澤香織委員, 茶野順子委員)</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年度	0050		
平成23年度	0046		
平成24年度	0050-1		
平成25年度	0036		
平成26年度	0029		
平成27年度	0028		
平成28年度	0027		
平成29年度	0027		
平成30年度	0027		
令和元年度	法務省 - 0028		
令和2年度	法務省 - 0030		

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.個人A			B.株式会社日本旅行		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
				職員旅費	保護観察等の業務遂行のために必要な旅費	0.2
	計		0	計		0.2
	C.更生保護法人日本更生保護協会			D.関東地方更生保護委員会		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	物品購入費	更生保護誌の購入費	105	予算配賦	会計機関への予算配賦	3,512
	計		105	計		3,512
	E.個人A			F.個人A		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	処遇協力者謝金	保護観察等の協力者に対する謝金	1			
	計		1	計		0
	G.正晃株式会社			H.更生保護法人東京実華道場		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
物品購入費	薬物唾液検査試薬購入費	22	委託費	保護観察対象者等の補導援護の委託費	171	
計		22	計		171	
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック <input checked="" type="checkbox"/>

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	講師謝金	0.1	その他	-	-	
2	麹町税務署	-	所得税	0	その他	-	-	
3	個人B	-	会議出席謝金	0	その他	-	-	
4	個人C	-	会議出席謝金	0	その他	-	-	
5	個人D	-	講師謝金	0	その他	-	-	
6	合同会社洗足ストレスコーピング・サポートオフィス	9010803000996	会議出席謝金	0	その他	-	-	
7	個人E	-	会議出席謝金	0	その他	-	-	
8	個人F	-	会議出席謝金	0	その他	-	-	
9	個人G	-	会議出席謝金	0	その他	-	-	
10	個人H	-	会議出席謝金	0	その他	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社日本旅行	1010401023408	保護観察等の業務遂行の ために必要な旅費	0.2	その他	-	-	
2	職員A	-	保護観察等の業務遂行の ために必要な旅費	0.2	その他	-	-	
3	職員B	-	保護観察等の業務遂行の ために必要な旅費	0.1	その他	-	-	
4	職員C	-	保護観察等の業務遂行の ために必要な旅費	0.1	その他	-	-	
5	職員D	-	保護観察等の業務遂行の ために必要な旅費	0.1	その他	-	-	
6	職員E	-	保護観察等の業務遂行の ために必要な旅費	0.1	その他	-	-	
7	職員F	-	保護観察等の業務遂行の ために必要な旅費	0.1	その他	-	-	
8	職員G	-	保護観察等の業務遂行の ために必要な旅費	0.1	その他	-	-	
9	職員H	-	保護観察等の業務遂行の ために必要な旅費	0.1	その他	-	-	
10	職員I	-	保護観察等の業務遂行の ために必要な旅費	0.1	その他	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	更生保護法人日本 更生保護協会	5011005000681	更生保護誌購入費	105	随意契約 (その他)	-	-	
2	株式会社トヨタレンタ リース兵庫	1140001016534	保護観察用自動車リース	14	国庫債務負担 行為等	-	-	
3	株式会社トヨタレンタ リース兵庫	1140001016534	保護観察用自動車リース	9	国庫債務負担 行為等	-	-	
4	トヨタモビリティサー ビス株式会社	9010001024708	保護観察用自動車リース	3	国庫債務負担 行為等	-	-	
5	あいおいニッセイ同 和損害保険株式会 社	3011001027739	社会貢献活動に係る損害 保険契約	1	一般競争契約 (最低価格)	1	100%	
6	日進医療器株式会 社	6120001086681	防護服購入費	1	随意契約 (少額)	-	-	
7	株式会社モリイチ	2010001059074	不織布マスク購入費	0.7	随意契約 (少額)	-	-	
8	株式会社キタジマ	8010001112736	保護者のためのハンドブッ ク等印刷費	0.5	一般競争契約 (最低価格)	4	66.4%	
9	株式会社キタジマ	8010001112736	更生保護パンフレット等印 刷費	0.2	随意契約 (少額)	-	-	
10	株式会社明祥	5010601006745	人事異動通知書等印刷費	0.5	随意契約 (少額)	-	-	
11	株式会社日精ビー アール	2010001082712	協力雇用主広報ポスター 印刷費	0.5	随意契約 (少額)	-	-	
12	帝國繊維株式会社	7010001034840	N95マスク購入費	0.2	随意契約 (少額)	-	-	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	関東地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	3,512	その他	-	-	
2	近畿地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	1,634	その他	-	-	
3	九州地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	1,621	その他	-	-	
4	中部地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	1,078	その他	-	-	
5	中国地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	876	その他	-	-	
6	東北地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	722	その他	-	-	
7	北海道地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	674	その他	-	-	
8	四国地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	415	その他	-	-	
9	九州地方整備局	-	会計機関への予算配賦	2	その他	-	-	

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	保護観察等の協力者に対する謝金	1	その他	-	-	
2	個人B	-	保護観察等の協力者に対する謝金	0.8	その他	-	-	
3	個人C	-	保護観察等の協力者に対する謝金	0.7	その他	-	-	
4	個人D	-	保護観察等の協力者に対する謝金	0.5	その他	-	-	
5	個人E	-	保護観察等の協力者に対する謝金	0.5	その他	-	-	
6	特定非営利活動法人北九州DARC	8290805003632	保護観察等の協力者に対する謝金	0.5	その他	-	-	
7	一般社団法人GARDEN	8150005006706	保護観察等の協力者に対する謝金	0.4	その他	-	-	
8	個人F	-	保護観察等の協力者に対する謝金	0.4	その他	-	-	
9	特定非営利活動法人大阪マック	9120005008398	保護観察等の協力者に対する謝金	0.4	その他	-	-	
10	個人G	-	保護観察等の協力者に対する謝金	0.4	その他	-	-	

F

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	保護観察対象者に対する食事費の給与	0	その他	-	-	
2	個人B	-	保護観察対象者に対する食事費の給与	0	その他	-	-	
3	個人C	-	保護観察対象者に対する食事費の給与	0	その他	-	-	
4	個人D	-	保護観察対象者に対する食事費の給与	0	その他	-	-	
5	個人E	-	保護観察対象者に対する食事費の給与	0	その他	-	-	
6	個人F	-	保護観察対象者に対する食事費の給与	0	その他	-	-	
7	個人G	-	保護観察対象者に対する食事費の給与	0	その他	-	-	
8	個人H	-	保護観察対象者に対する食事費の給与	0	その他	-	-	
9	個人I	-	保護観察対象者に対する食事費の給与	0	その他	-	-	
10	個人J	-	保護観察対象者に対する食事費の給与	0	その他	-	-	

G

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	正晃株式会社	4290001003374	薬物唾液検査試薬購入費	22	一般競争契約 (最低価格)	2	100%	-
2	特定非営利活動法人大阪府就労支援事業者機構	9120005012144	保護観察対象者等に対する就労支援の実施委託料	18	随意契約 (企画競争)	1	97.2%	-
3	特定非営利活動法人東京都就労支援事業者機構	6011105004870	保護観察対象者等に対する就労支援の実施委託料	18	随意契約 (企画競争)	1	99.9%	-
4	株式会社フジモト	9290801003255	OA機器等の購入費	14	一般競争契約 (最低価格)	5	93.9%	-
5	特定非営利活動法人兵庫県就労支援事業者機構	9140005005113	保護観察対象者等に対する就労支援の実施委託料	13	随意契約 (企画競争)	1	99.4%	-
6	特定非営利活動法人宮城県就労支援事業者機構	7370005003013	保護観察対象者等に対する就労支援の実施委託料	13	随意契約 (企画競争)	1	99.9%	-
7	特定非営利活動法人神奈川県就労支援事業者機構	2020005009149	保護観察対象者等に対する就労支援の実施委託料	12	随意契約 (企画競争)	1	99.9%	-
8	特定非営利活動法人愛知県就労支援事業者機構	8180005008030	保護観察対象者等に対する就労支援の実施委託料	12	随意契約 (企画競争)	1	99.9%	-
9	特定非営利活動法人埼玉県就労支援事業者機構	6030005002504	保護観察対象者等に対する就労支援の実施委託料	12	随意契約 (企画競争)	1	100%	-
10	特定非営利活動法人岩手県就労支援事業者機構	8400005002919	保護観察対象者等に対する就労支援の実施委託料	12	随意契約 (企画競争)	1	99.9%	-

H

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	更生保護法人東京実華道場	2010005002550	保護観察対象者等の補導援護等の委託費	171	その他	-	-	-
2	更生保護法人和衷会	1120005004165	保護観察対象者等の補導援護等の委託費	121	その他	-	-	-
3	更生保護法人静修会	3011805000032	保護観察対象者等の補導援護等の委託費	110	その他	-	-	-
4	更生保護法人盟親	7130005004844	保護観察対象者等の補導援護等の委託費	107	その他	-	-	-
5	更生保護法人ウイズ広島	6240005002061	保護観察対象者等の補導援護等の委託費	100	その他	-	-	-
6	更生保護法人大谷染香苑	3430005003027	保護観察対象者等の補導援護等の委託費	91	その他	-	-	-
7	更生保護法人日新協会	9011505000797	保護観察対象者等の補導援護等の委託費	81	その他	-	-	-
8	更生保護法人岡崎自啓会	2180305000907	保護観察対象者等の補導援護等の委託費	75	その他	-	-	-
9	更生保護法人宮城東華会	8370005001718	保護観察対象者等の補導援護等の委託費	69	その他	-	-	-
10	更生保護法人真裁会	2011805000033	保護観察対象者等の補導援護等の委託費	65	その他	-	-	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	<input checked="" type="checkbox"/>

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	C	株式会社トヨタレンタリース兵庫	1140001016534	保護観察用自動車リース	59	一般競争契約 (総合評価)	2	97.6%	-
2	C	トヨタモビリティサービス株式会社	9010001024708	保護観察用自動車リース	87	一般競争契約 (総合評価)	2	94.6%	-

費目・用途 <small>(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)</small>	I.保護司A			J.職員A		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	実費弁償金	保護観察等の職務を行うために要した実費の弁償	1			
計		1	計		0	

I

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	保護司A	-	保護観察等の職務を行うために要した実費の弁償金	1	その他	-	--	
2	保護司B	-	保護観察等の職務を行うために要した実費の弁償金	1	その他	-	--	
3	保護司C	-	保護観察等の職務を行うために要した実費の弁償金	1	その他	-	--	
4	保護司D	-	保護観察等の職務を行うために要した実費の弁償金	1	その他	-	--	
5	保護司E	-	保護観察等の職務を行うために要した実費の弁償金	1	その他	-	--	
6	保護司F	-	保護観察等の職務を行うために要した実費の弁償金	1	その他	-	--	
7	保護司G	-	保護観察等の職務を行うために要した実費の弁償金	1	その他	-	--	
8	保護司H	-	保護観察等の職務を行うために要した実費の弁償金	1	その他	-	--	
9	保護司I	-	保護観察等の職務を行うために要した実費の弁償金	1	その他	-	--	
10	保護司J	-	保護観察等の職務を行うために要した実費の弁償金	1	その他	-	--	

J

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	職員A	-	保護観察等の業務遂行のために必要な旅費	0.2	その他	-	--	
2	職員B	-	保護観察等の業務遂行のために必要な旅費	0.2	その他	-	--	
3	職員C	-	保護観察等の業務遂行のために必要な旅費	0.2	その他	-	--	
4	職員D	-	保護観察等の業務遂行のために必要な旅費	0.2	その他	-	--	
5	職員E	-	保護観察等の業務遂行のために必要な旅費	0.2	その他	-	--	
6	職員F	-	保護観察等の業務遂行のために必要な旅費	0.2	その他	-	--	
7	職員G	-	保護観察等の業務遂行のために必要な旅費	0.2	その他	-	--	
8	職員H	-	保護観察等の業務遂行のために必要な旅費	0.2	その他	-	--	
9	職員I	-	保護観察等の業務遂行のために必要な旅費	0.2	その他	-	--	
10	職員J	-	保護観察等の業務遂行のために必要な旅費	0.2	その他	-	--	